

# 薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！  
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2020年  
2月7日  
第78号



## フクジュソウ (キンポウゲ科)

毎年、春先に咲きますが、今年は例年よりもかなり早そうで、今現在、温室横で芽生えがみられます。漢名は「福寿草」で、旧暦の元旦に長寿の願いをこめた祝いの飾りにしたことからのようです。花は葉に先立って咲き、晴天では開き、曇天や夜間は閉じます。中国では全草を中薬名で「福寿草」と言い、強心、利尿を目的に使われていますが、毒性の強い強心配糖体であるシマリンが含まれているため、日本では使用されません。中毒症状は、嘔吐後に呼吸困難になり、心臓麻痺をおこし、重い場合は死亡します。フクジュソウの若芽は写真のようにフキノトウに似た姿で地上に現れ、間違っ

## クマザサ (イネ科)

鑑賞用として各地に植栽されるササの仲間で、園では管理棟前に見られます。冬に縁が枯れ、淡褐色に隈取られる様から名がつけました。したがって漢名は「隈笹」であって「熊笹」ではありません。乾燥させた葉は、俗に「健康の維持・増進によい」「美容によい」などと言われている健康食品原料として市販されていますが、エビデンスはいっさいありません。そもそも変異が大きく、さまざまなササ属植物を「クマザサ」と呼んだりするので、正しい植物を原料としているかどうかはわかりません。ササ属植物の葉は「笹寿司」や「チマキ」など食品を包むのに用いられ、含有する安息香酸の抗菌、防腐作用が期待されると考えられます。

今、こんな草木が楽しめます！！